

## ため池決壟の想定条件

地震や大雨によって、満水状態の花の山池が決壟し、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

## 浸水の深さによって避難方法は異なります

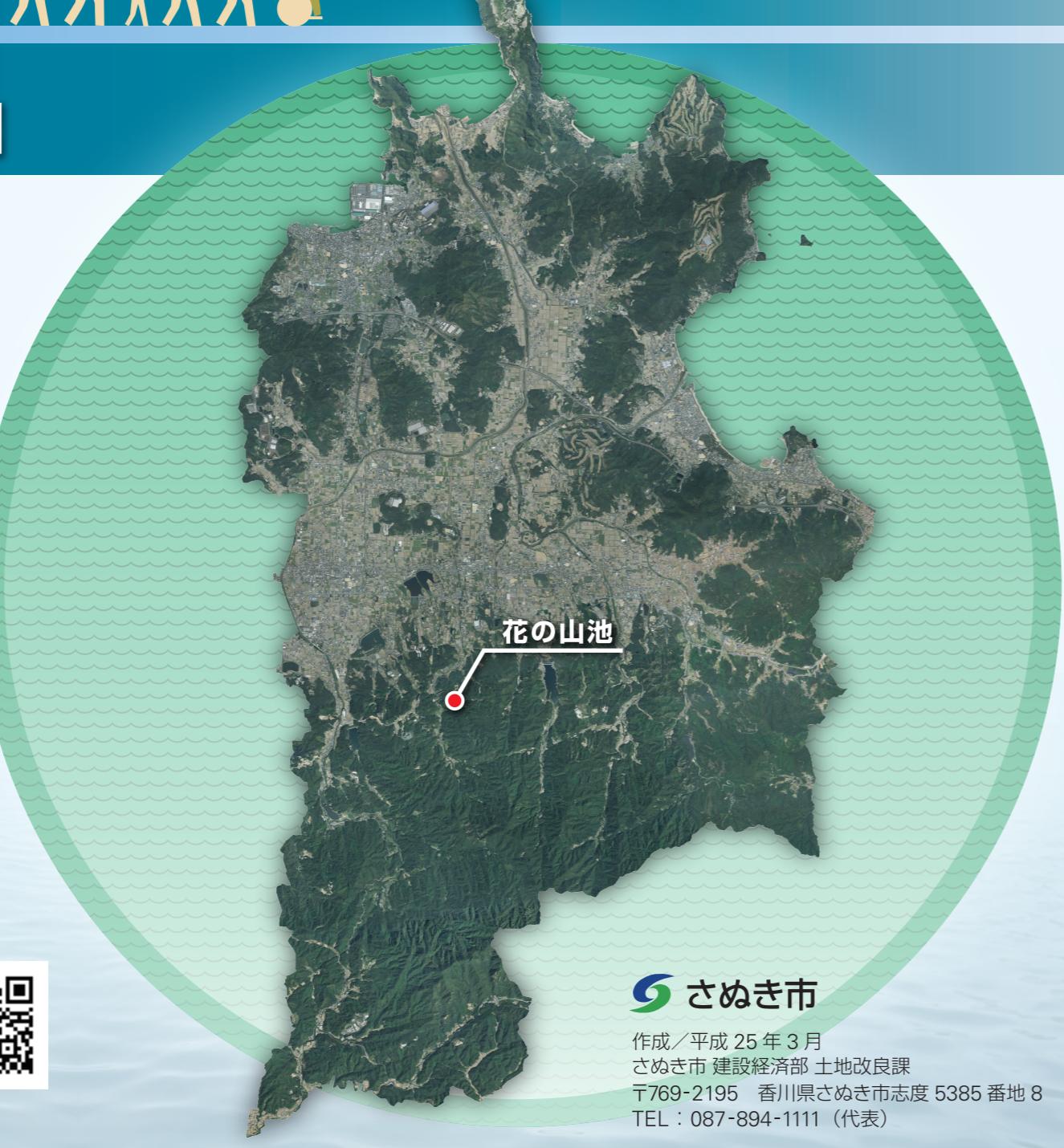
- 浸水しない場所（空き地、道路など）
- 自宅の2階、危険のない近くの高い建物
- 自宅にとどまる

## いざというときの連絡先（TEL）

さぬき市 代表 087-894-1111  
警 察 事件・事故の通報 110 局番なし  
消 防 火事・救助・救急 119 局番なし  
災害用伝言ダイヤル 災害時の安否確認 171 局番なし

## 安全安心コミュニティ（登録無料）

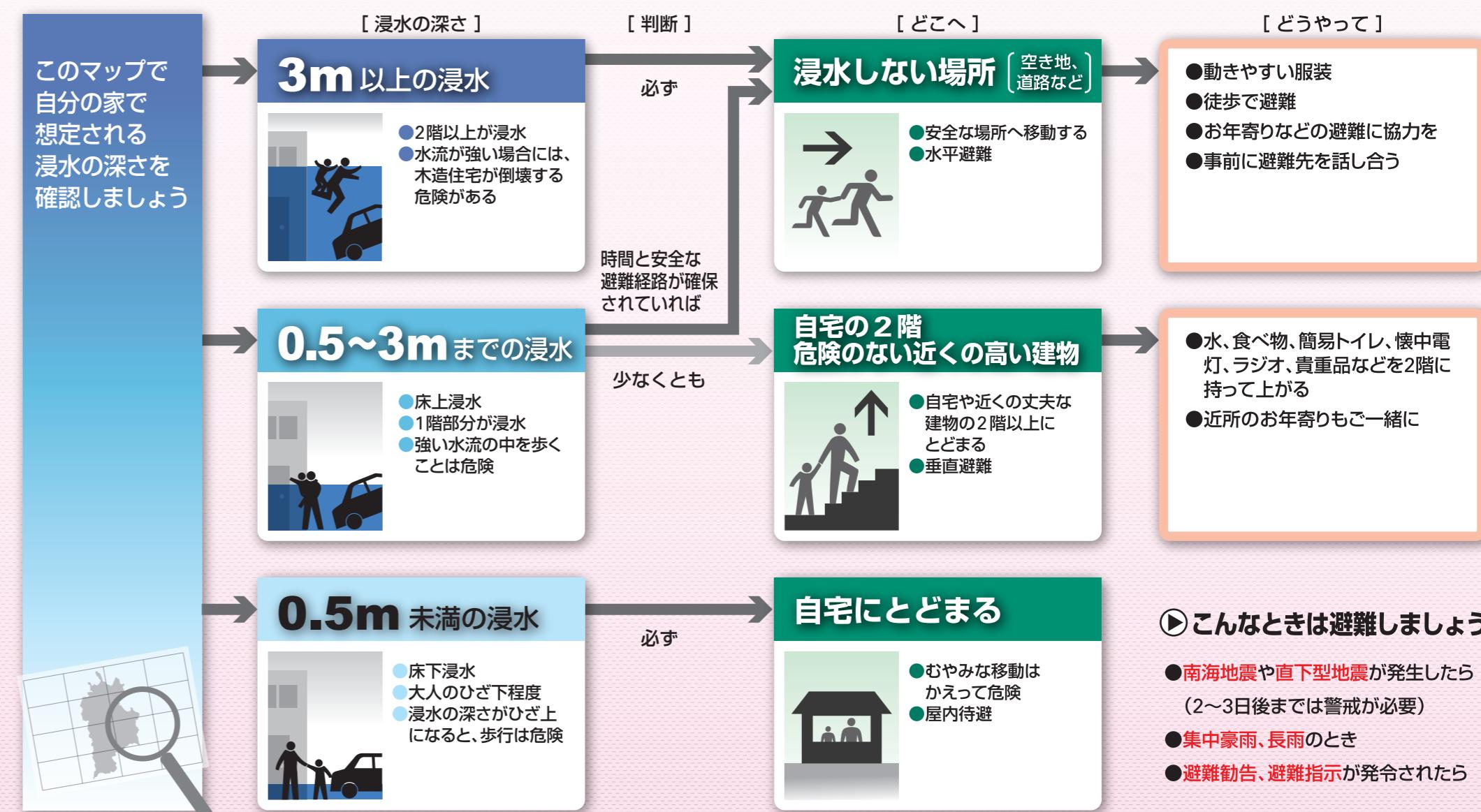
http://anshin.sanuki.ne.jp/m/  
登録しておくだけで、さぬき市における緊急災害情報などが携帯電話のメールに配信されるサービスです。



## 状況に応じた避難をしよう

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で話し合いましょう。

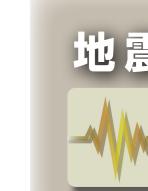
## » ため池決壟による浸水の深さを想定した避難の流れ



## ため池決壟について知ろう

想定される災害を事前に知り、一人ひとりが災害について、「わがこと」として考えることが、減災への第一歩となります。

## » ため池決壟の原因（地震と大雨）



さぬき市では、東南海・南海地震（今後30年以内に発生するおそれ）が同時に発生した場合に、震度5強～6強\*の揺れが予測されています。

また、地震列島である日本では、どこにおいても直下型地震が発生する可能性があります。

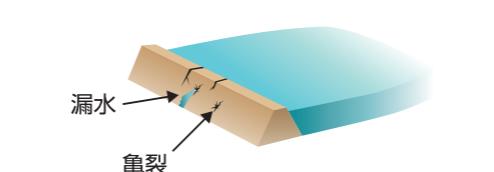
\* さぬき市地図ハザードマップ（平成22年9月作成）



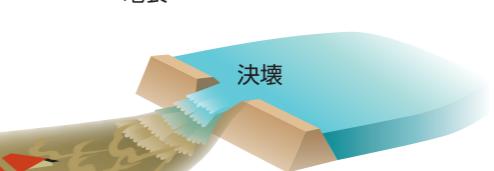
近年、短時間に激しく降る大雨（ゲリラ豪雨）が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続くと、ため池の水位が上昇し、ため池決壟のおそれがあります。

## » ため池決壟の起こり方と、その被害

①南海地震や直下型地震、大雨で堤防が破損する。



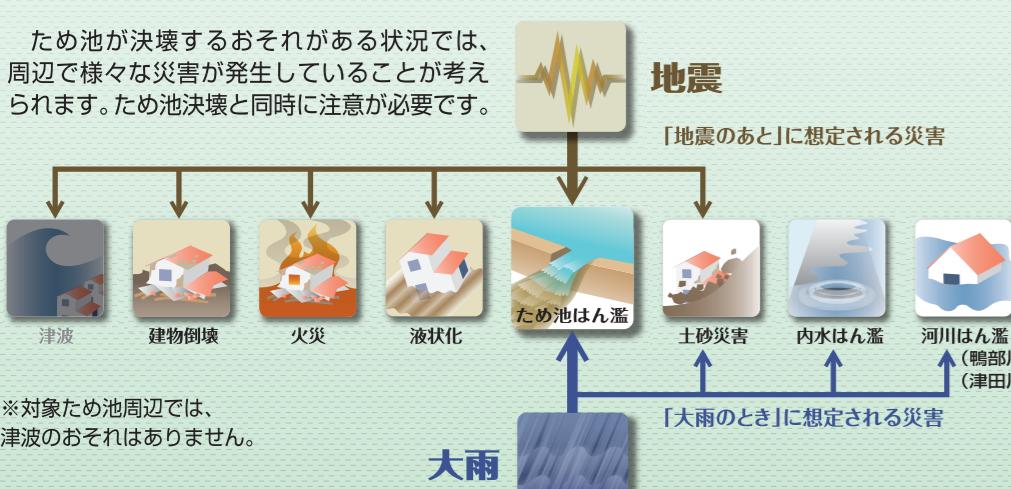
②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壟」



③ため池決壟による被害

- ・大量の水や土砂が濁流となって、周囲に押し寄せます。
  - ・山崩れ、内陸部における津波とも呼ばれています。
  - ・建物や車は押し流されます。
  - ・道路や住宅地、田畠は土砂に埋まります。
- ※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

## » ため池決壟と同時に発生するおそれがある災害



## » 災害事例

## 地震

## 福岡県 須賀川市

東北地方太平洋沖地震（平成23年3月11日）による震度6弱の揺れで、藤沼が決壟し、死者・行方不明者8名を出す被害となりました。

・長時間の強い揺れによって、地震後に決壟。

・田植え前で満水状態であった貯水が全て流出した。

・下流の集落に濁流となって押し寄せた。



## 大雨

## 香川県 さぬき市

平成23年9月の台風15号に伴う大雨によって、薬師堂下池（津田町）の堤防が幅18m、高さ5mにわたって崩れました。

・緊急的に水位を下げたことにより決壟を免れました。

## » 避難情報を入手するときの注意事項



被災状況（防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など）により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。

そのことを前提と考え、憶測やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

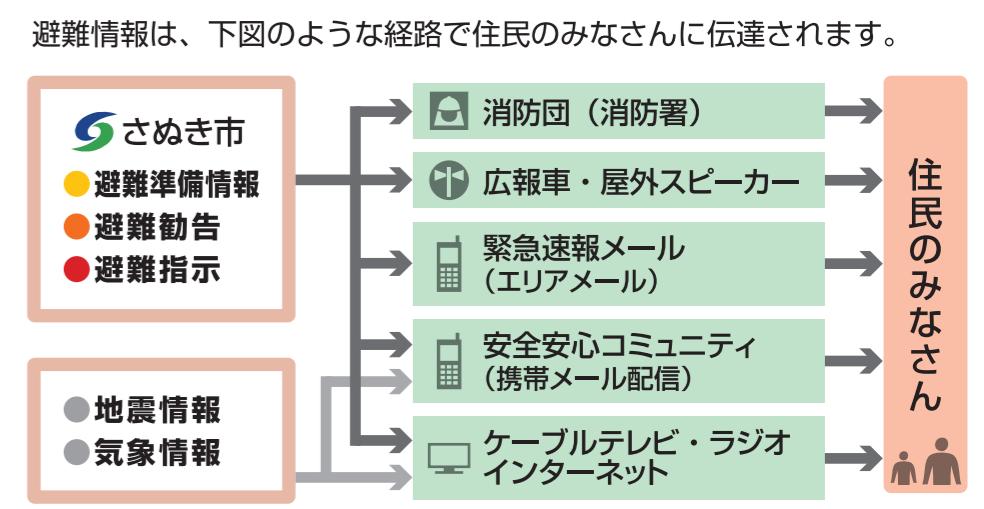


大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。

テレビやラジオ、インターネットなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

## » 避難情報の伝達経路と内容

## 避難情報は、下図のような経路で住民のみなさんに伝達されます。



## 花の山池 浸水深マップ

## 地震のあと

## 大雨

## 津波

## 建物倒壊

## 火災

## 洪水化

## ため池はんなま

## 土砂災害

## 内水はんなま

## 河川はんなま（津田川）

## 河川はんなま（東王田川）

## 津波

## おそれ

## あります

## ません

## はなのやまいけ 花の山池

### 浸水深マップ 大雨のとき

大雨のときは、気象情報などを参考に、早めの避難を行うことが大切です。  
雨が降り続くと、ため池決壟のほかにも、水はけの悪い水路や小河川、下水道などがあふれる内水はん蓋、土砂災害など様々な災害が同時発生するおそれがあります。

浸水の深さ  
3m  
2m以上が浸水する程度  
0.5~3m  
1階の軒下まで浸水する程度  
0.5m  
床下水 床下浸水

避難経路の安全性  
特に危険な区域  
(ため池堤防)  
ひざ上(0.5m以上)が浸水  
通行は危険  
ひざ下(0.5m未満)が浸水  
通行には注意が必要

ため池決壟と同時に発生するおそれがある災害  
土砂災害(急傾斜地の崩壊)  
土砂災害危険箇所  
土砂災害警戒区域  
土砂災害(土石流)  
土砂災害警戒区域

※内水はん蓋による浸水想定区域は記載していません。

凡例



避難所(建物)



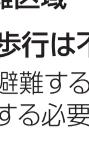
避難方向



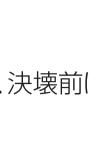
警察



消防



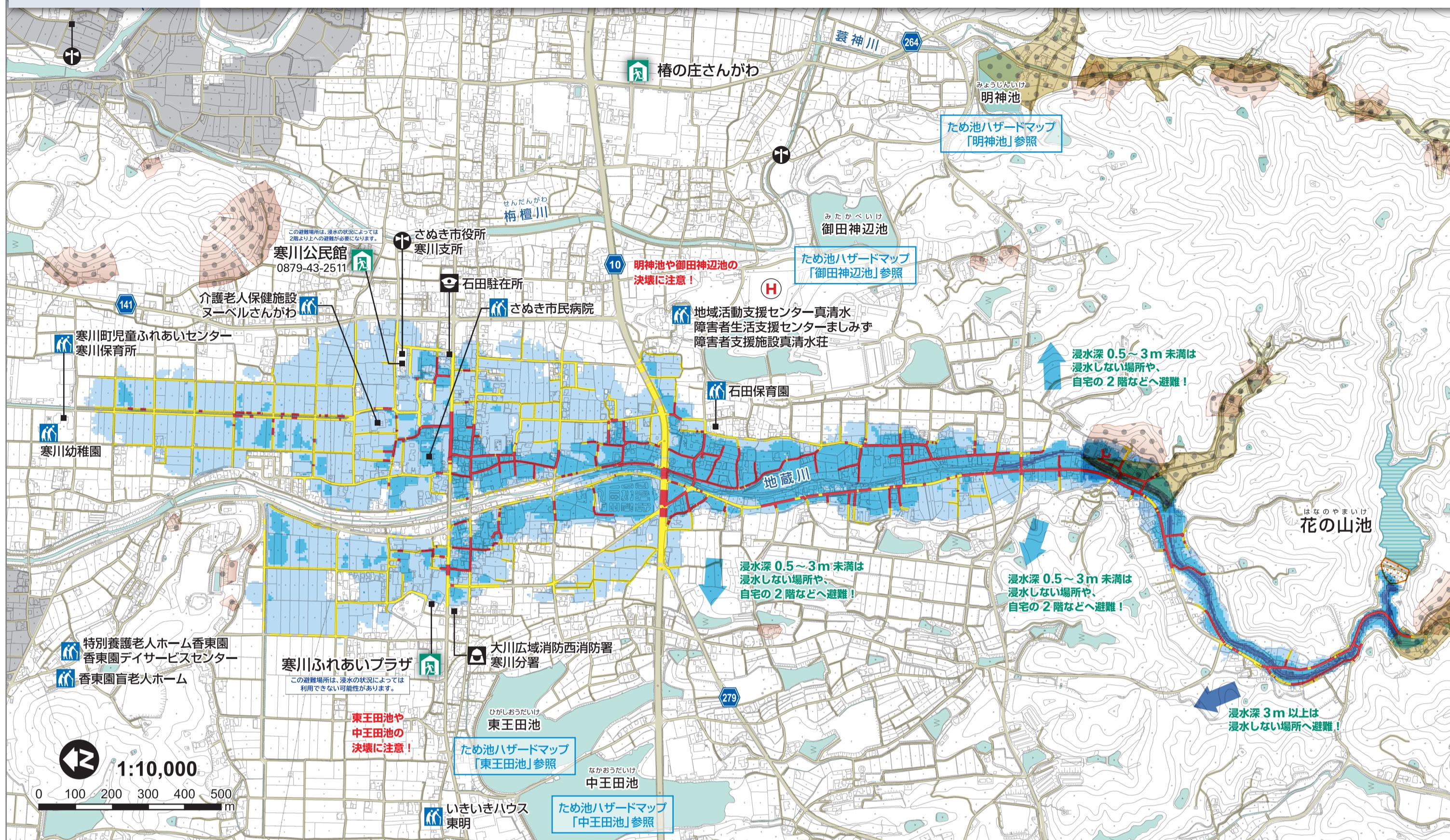
災害時要援護者施設



臨時ヘリポート



防災行政無線(屋外スピーカー)



## 歩行困難区域 マップ

ため池決壟による「浸水の深さ」と  
「流れる速さ」の関係から、歩行困難  
となる区域を表現しています。ため池  
が決壟すると、水のかたまりが勢いを  
持って押し寄せます。

歩行困難区域  
歩行は不可能  
避難する場合は、決壟前に移動  
する必要がある  
歩行は困難  
むやみな移動はかえって危険  
歩行可能

凡例



避難所(建物)



広域避難場所



警察



消防



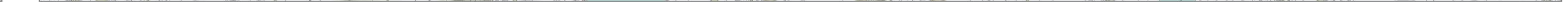
災害時要援護者施設



臨時ヘリポート



防災行政無線(屋外スピーカー)



## ゆれやすさ マップ

### 震度分布

ゆれやすさマップは、東南海・南海  
地震が同時発生した場合に想定され  
る震度分布を表現しています。  
地震のゆれは、震源からの距離と  
地形の違いによって変化し、一般に川  
の近くでは揺盤がやわらかく、周囲と  
比べて一段大きな震度で震ることも  
あります。さぬき市では、震度5強から  
6強が予想されています。

震度(東南海・南海地震)  
震度 6 強  
震度 6 弱  
震度 5 強

凡例  
避難所(建物) 広域避難場所  
避難所・広域避難場所(敷地)  
警察 消防  
災害時要援護者施設  
臨時ヘリポート 防災行政無線(屋外スピーカー)

※東南海・南海地震は、今後30年内に  
0.05%程度の確率で発生すると予  
測されています。  
出典: さぬき市地震ハザードマップ  
(平成22年9月作成)

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

到達時間  
決壟後5分  
決壟後10分  
決壟後15分  
決壟後30分  
決壟後60分

凡例  
避難所(建物) 広域避難場所  
避難所・広域避難場所(敷地)  
警察 消防  
災害時要援護者施設  
臨時ヘリポート 防災行政無線(屋外スピーカー)

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

この避難場所は、浸水の状況によって  
2階以上の避難が必要になります。

